



9月から小学6年生と 中学3年生の給食費 無料化をスタート

【どうして9月からか…】

【なぜ小学6年生と中学3年生なのか…】

新たに給食費無料化をスタートさせるためには、対象者の範囲にアレルギー対象者を含めるなど、細かい制度づくりが必要になります。また、小中学校間の調整や保護者みなさんへの周知のため、夏休み明けの9月開始としました。

対象については、市全体の事業費を考えながら検討し、まず制服やカバンなど進学準備で経済的負担がかかる小学6年生と中学3年生から始めることとしました。

【どれだけの児童生徒が対象になるのか…】

小学6年生が約620人、中学3年生が約660人で、合計約1280人です。

付け加えると、小中学生の給食費を支援する事業は、新たにスタートする小学6年生と中学3年生の無料化だけではありません。その他に、就学援助費での全額援助と特別支援教育就学奨励費の半額援助、また第3子以降の無料化があります。これらを併せると、小中学生の3分の1以上にあたる約2100人の児童生徒が、給食費支援の対象となっています。

【給食費無料化の考え】

二つの考えがあります。

一つ目は、給食費無料化については、子育てで未来の投資をしていきたいという私の公約の一つです。その実現により、みなさんが真ん中にいるやさしくげんきで、ずっと住み続けたいと思っていた犬山づくりにつなげていき

たいとの考えからです。

二つ目は、子育てへの考え方です。当たり前ですが、一人であろうと二人であろうと子どもを育てられる親は、だれしも一生懸命に子育てをされています。ですから、少子化対策から子ども子育て支援へと視点を移して、子育てをされる親の当事者目線で、家族や親だけでなく、子ども育ちを社会全体で応援していくことが大切だと思っています。さらに、給食は単に空腹を満たすものではありません。子どもたちの元気な身体を育てる食育の場としてもすごく大切です。ですから、あたたかい新たな子育て支援として前に進めます。

【今後の無料化の計画は…】

この事業は、6月議会に諮り、議決をいただいたうえで進めます。

今後の展開については、財政状況を見極めつつ、段階的に、いつ、どのタイミングで、どう進めていくか、適切に判断して進めていきます。